

総務大臣賞

～北国の厳しいしばれ(寒さ)を楽しもう!!～

北海道

しもかわアイスキャンドルミュージアム実行委員会



琥珀色に輝くアイスキャンドルを見つめる子供たち



照明を消して、アイスキャンドルの幻想的な
雰囲気を堪能。



万里長城を会場に約1,000個のアイスキャンドルと
カクテル光線によるライトアップにより、神秘的な氷と
光の空間を作り出している。

●事例の概要

○昭和62年、町内のアイディア研究会が一冊の本の一文からヒントを得て作成した氷のキャンドルを「アイスキャンドル」と命名、町内イベントの冬の夜に飾られた。

○「雪は邪魔者、冬は寒くて辛いもの」というイメージを逆手にとり、今では「下川のしばれを楽しむ冬の風物詩」「アイスキャンドル発祥の地」として知られるまでになった。

○「下川のしばれを冬の風物詩として定着させたい」という地域住民の想いが「小さな町でもやればできる」という機運につながっている。

○評価のポイント

下川町は北海道のほぼ中央、上川管内の北部に位置し、面積の約90%を森林が占めている過疎の町である。

町内のアイディア研究会「コロンブスの卵」が一冊の本の一文からヒントを得て作成した氷のキャンドルを「アイスキャンドル」と命名し、昭和62年の「下川冬祭り」で約600個のアイスキャンドルが町内の夜に飾られた。

その後「アイスキャンドルフェスティバル」「アイスキャンドルミュージアム」と名称を変えながら、約20年間にわたって継続し、下川の冬を彩るイベントへと発展を遂げた。

会場では、各団体が作成した大小さまざまな雪像にアイスキャンドルが飾られ、メインステージでは、寒さを吹き飛ばす熱気で満ちた多彩なアトラクションが催され、平成9年からは「万里長城」を「アイスキャ

ンドルパーク」としてアイスキャンドルを点灯した。また会場以外でも商店街や道路沿い、各家庭に6,000個以上のアイスキャンドルが飾られ、町内全体がアイスキャンドルの「美術館」となり、琥珀色に輝くキャンドルが幻想的な世界を作り出している。

「雪は邪魔者、冬は寒くて辛いもの」というイメージを逆手にとり、今では「下川のしぶれを楽しむ冬の風物詩」「アイスキャンドル発祥の地」として知られるまでになった。

「下川のしぶれを冬の風物詩として定着させたい」という地域住民の想いが、町全体が一体となった取組みにつながっており、「小さな町でもやればできる」という機運が地域全体に広がった事例として評価された。



ドラム缶コンロを囲み北海道ならではのジンギスカンを食べながら、下川のしぶれを楽しむ参加者たち



各戸ごとに工夫を凝らしてアイスキャンドルを飾り、イベントを盛り上げている。

シモカワチョウ
北海道 下川町



国勢調査人口

昭和35年	昭和45年	平成2年	平成7年	平成12年
15,555	11,568	5,065	4,747	4,413

人口増減率

H12/S35	H12/S45	H7/H2	H12/H7	高齢者比率(12年)
△71.6	△61.9	△6.3	△7.0	高齢者比率 29.8 若年者比率 14.5

交通のご案内

自動車 道央自動車道土別剣淵ICから国道40号、国道239号経由60分
鉄道 JR宗谷本線名寄駅からバス30分
飛行機 旭川空港から自動車140分

団体連絡先

名 称 しもかわアイスキャンドルミュージアム実行委員会
所 在 地 〒098-1203 北海道上川郡下川町共栄町6番地
電話番号 TEL (01655) 4-2718
U R L <http://www.shimokawa-kankou.jp/>